

< 令和8年度6月補正予算（案）の概要の説明 >

令和8年度6月補正予算については、市民の皆様にお約束した公約の実現を始めとする、政策的予算を編成しました。

以下、6月補正予算の項目を、第七期帯広市総合計画の4つのまちづくりの目標と共通施策に沿って整理しましたので、これに基づき、「令和8年度6月補正予算のポイント」をご説明します。

はじめに、「ともに支え合い、子どもも大人も健やかに暮らせるまち」につきましては、来年度から子ども医療費助成制度を高校生年代まで拡充するための準備を進めるほか、医療的ケア児とその保護者が地域で安心して暮らせるよう総合的な相談体制を整備します。

また、75歳以上の高齢者を対象に、高用量インフルエンザワクチンの定期接種を実施します。

つぎに、「活力とにぎわいと挑戦があるまち」につきましては、宿泊税を活用して観光需要が低下する冬期に、とちプラザ南側の南公園においてイルミネーションイベントを開催するほか、おびひろ氷まつりにおいて、国内最大級の氷彫刻の展示や夜間イベントを拡充するなど、観光客を呼び込むコンテンツの充実に取り組みます。

また、令和 9 年 8 月に開催される全国和牛能力共進会北海道大会に向けて、市内飲食事業者の地場産和牛を活用したメニュー開発を支援するほか、学校給食で地場産和牛を活用したメニューを提供します。

つぎに、「ともに学び、輝く人を育むまち」につきましては、児童会館遊び場の遊具更新などを行うほか、児童会館と百年記念館の今後の施設のあり方を検討するための施設現況調査や、帯広の森アイスアリーナと帯広の森野球場の今後の施設整備手法を検討するための調査を行います。

また、帯広南商業高校へのエアコン設置に向けた実施設計や動物園のシマウマ舎の整備に向けた実施設計などを行うほか、ワールドカップスピードスケート競技会の帯広開催に対する支援を行います。

つぎに、「安全・安心で快適に暮らせるまち」につきましては、除排雪作業の効率化や事務作業軽減による除雪体制の維持を図るため、除雪運行管理システムを試験的に導入します。

最後に、「多様な主体が活躍する地域社会の形成・自治体経営の推進」につきましては、若者の愛郷心の醸成や成長機会の提供に加え、市職員の人材育成につなげる「(仮称)若者議会」の設置に向け、先進地である愛知県新城市への視察を行います。

以上が、6月補正予算の主な事業であり、予算総額は6億5,561万7千円であります。

なお、各会計別の予算規模などの詳細につきましては、各会計予算総括表(資料1ページ)、一般会計歳入歳出総括表(資料3～4ページ)をご覧ください。

これらの予算につきましては、6月11日招集予定の議会に提案します。